



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2026.7.31発行
社会福祉法人
志摩会
第92号



《糸島市》

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ デイサービス
認知症対応型デイサービス
小規模多機能型居宅介護
ケアプラン 配食サービス
糸島市志摩地域包括支援センター



《福岡市・インマイライフあらと》

グループホーム
看護小規模多機能型居宅介護
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
訪問看護 ケアプラン
放課後等デイサービス



《法人本部》

福岡県糸島市志摩久家2527番地2
TEL 092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
<http://www.shimaen.or.jp>

地域貢献

オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・
せいかつ志縁隊・おでかけ志縁隊・
まつり志縁隊・よか志縁隊・
たまり場・みんなきんしゃい・
地域カフェ



志摩・寺山海岸

おおむかし、夏の色は赤とされた？

視界もクリアに海の碧さと空の青さにハッとする朝です
五月の爽快な海にさそわれて
鱈釣りへ

令和8年度第1回定時 志摩園入所検討会議

4/23

★要介護度別志摩園(定員130名)入所申込者の推移

(名)

	H26.10.1	→	R5.10.1	R6.4.1	R6.10.1	R7.4.1	R7.10.1	R8.4.1
要介護5	27	制度 改定	10	7	7	8	9	10
要介護4	43		31	25	16	21	20	16
要介護3	48		43	42	33	40	36	24
要介護2	49		10	13	5	7	8	8
要介護1	52		9	16	12	12	13	12
計	219		103	103	73	88	86	70

入所待機場所別介護度(R8.4.1現在)

	在宅	医療機関	老健	特養	G・H	有料	養護	軽費その他
要介護5	3	5	1	1	0	1	0	0
要介護4	2	8	2	1	0	3	0	0
要介護3	7	6	4	1	0	5	0	1
要介護2	2	1	0	0	2	2	0	0
要介護1	4	5	2	0	0	1	0	0
計	18	25	9	3	2	12	0	1

入所申込の 受付状況	R7.10～R8.3までに新規入所申込者数 16名				保 険 者 別 待 機 数	糸 島 市	志摩地区	37名
入所状況	R7.10～R8.3までに入所者数 25名内、特例入所3名						二丈地区	5名
入所辞退数	①在宅生活継続	5名	④ご逝去	5名			前原地区	18名
	②他施設入所	6名	⑤その他	1名			福岡市他	10名
	③入院継続	4名	計	21名			計	70名

★入所待機者の平均要介護度(R8.4.1現在)

3.05

★直近半年間(R7.10～R8.3末)の要介護1、2の新規入所申込受付は5名、 また入所受入実績は3名(要介護2)

令和7年度後期入所お申込み業務からの気づき

❖在宅療養中の方も含め、医療的ケアの継続が必要な方のお申込状況は右の表のとおりです。医療的な処置が必要な方の入所もご相談ください

❖酸素取扱い事業者様から機器取扱い等具体的に指導していただき、今期初めて在宅酸素処方中の方の入所受入れができました

医療的ケア	人数
胃ろう	2
透析	1
留置カテーテル	1

志摩園での御看取りは
令和7年度は8名おられました(令和6年度12名)

インマイライフあらとは“問題児”？



社会福祉法人志摩会の「祖業」は特別養護老人ホーム。平成に入り、ゴールドプランに呼応して、ショートステイやデイサービスなど在宅サービスを順次展開しながら、現在は、介護保険時代。時が巡るなかで、法人の歴史は古いが「特養中心の今のままではダメなんじゃないか」と思いは強く、ベンチャー事業のスケールの拡大を目指すことにしました。

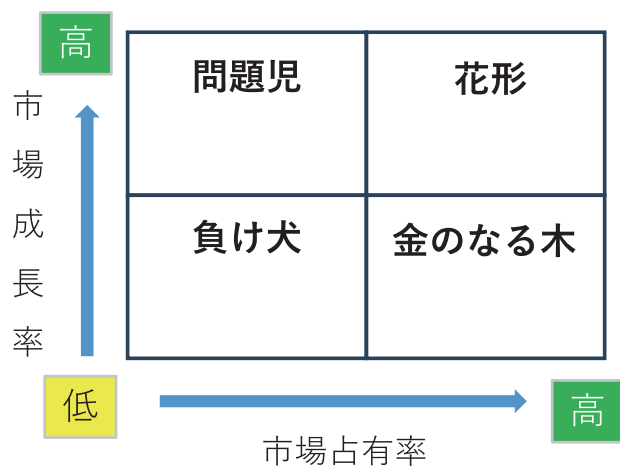
❖ 令和7年6月1日に認知症対応型グループホーム(定員18名)、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護(7月1日開設)、ケアプランサービス、訪問看護ステーションを、令和8年6月1日に重心型放課後等デイサービスの合わせて6つのサービスを当初の計画どおり1棟のビルの中に一統しました。

普通は10年くらいかけて一つずつ整備するところ、一気に開業したため、その負担感のツケといったら最凶レベル！

それでも試練は織り込み済みのこと。とどまるも、進むも茨の道、ならば前に進むことを選んだ結果ですから。

サービスのライフサイクル

— 2年目はポートフォリオの中でインマイライフあらとを育てる —



① 特別養護老人ホーム

② ショートステイ

③ デイサービス

④ 認知症対応型デイサービス

⑤ 小規模多機能型居宅介護

⑥ 看護小規模多機能型居宅介護

⑦ 認知症対応型共同生活介護

⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

⑨ 訪問看護ステーション

⑩ 放課後等デイサービス

単体では低パフォーマンスでも他のサービスと組み合わせることで、大きな相乗効果を発揮する可能性がある

◎ 社会保障制度や生活者の意識やニーズの変化で分析の前提がガラリと変容することもあるかもしれませんし、経済論理だけで一直線に進むことはしないと思います

◎ さらに6月19日、9法案を束ねた社会福祉法等の一部改正法が成立し、介護保険制度創設以来の全国一律の標準化されたサービスを受けられる前提が崩れてしまいました。これからは事業所のある地域ごとの経営戦略が重要になります。ヒト・モノ・カネ・情報の経営資源が潤沢に活用できれば良いのですが、難しい時代に入りました

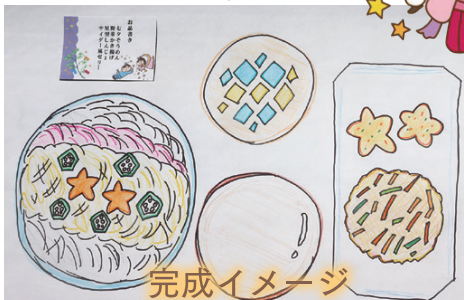
◎ 志摩会のこだわりは **社会福祉法人が行うサービス** ということ。社福らしい“アイデア(発想)”、“ふるまい(行動・実践)”を発揮すること

各方面にわたり、本当に多くの方たちに助けていただき、感謝申し上げます。今度は私たちも地域の役に立てるよう努力を重ねますので、今後もよろしくお願いいたします。

topics

デイサービスセンター志摩園 今年も西瓜の収穫！

今回の七夕仕様設計者
絵コンテも by ゆきな



完成イメージ



特養栄養士



7月初めにお
裾分けて
特養もご相伴。

すいか担当
吉村さん

吉村さんの超
自信作に違わ
ない甘いスイ
カでした



- ・主食はそうめんと梅そうめん
- ・星形食材で天の川を表現
- ・サイダー風ゼリーで涼やかに
- ・かき揚げは外はカリッと七夕らしさと高齢者の食べ易さにこだわりました

イメージ通りに完成
志摩園の食事はクックチル方式ですが、季節や
イベント食は創作で自己表現のチャンス！



老人ホーム昼食



配食サービス昼食



昼食後にも拘らず皆さんすごい食べっぷり！
ソーメンは別腹なんだとか！



ここに
鱈のネタが加
わる手筈が…

シヨート
ステイ

魚釣りイベントと同時進行企画

釣り現場からの実況連絡に一喜一憂しつつ、
こんなこともあろうと完璧にリスクヘッジ

本日の昼食

天ぷら



三人が見事にリカバリ





まさに 芒種6月6日の田植え



6月4日の梅雨入りも、いきなり中休み？ 蒸し暑さもなんのその 開放的な一日でした

たからんたま志摩



今年もヒノヒカリの早苗



最強 日の丸健児



柴田兄弟！



今年も調理から屋外担当まで多くの地域ボランティアさんにご協力いただきました



手際よさが際立ちます



最終仕上げ中

地域の“ゆいまー”交流の場。秋の味覚祭りも乞うご期待！

おこもり カフェ

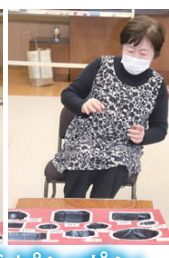
おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの“週替り”メニューを用意して皆様のご来店をお待ちしております。

第227回 5/2

志摩のお祇園饅頭&レク3選



餡子と蓬で120個以上作りました



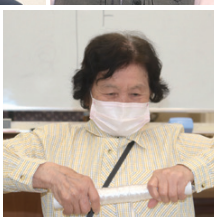
バウンドピンポン



第228回 5/16



クイズDEドン



職員でも四苦八苦した“ロールまきまき”

第229回 6/6

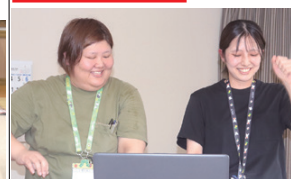
フラダンス指導



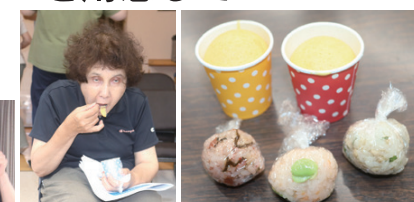
指先が柔らかく綺麗ですと野村先生から褒められました



第230回 6/20



夏の健康講座



志摩園栄養士による夏を元気に乗越えるためのお話と簡単にできる実食品を用意、付度なしに大好評でした、流石！



第231回 7/4



あなたも太公望



第232回 絆 様



ボールを叩かれないようバケツリレーゲーム





- ◎ 偶数月第4日曜日 13時30分～15時30分 (2時間)
- ◎ 糸島市健康福祉センターふれあい 2階交流室で開催
- ◎ “きょうのあそび”メニューは定番と月替りの2本立て。
月替りメニューは季節の行事や注目のアイテムなど、テーマを決め準備します

事前の
参加申
込不要



4/26
25th

しっぽとり

おうちでアレ
ンジしました

じゃんけん列車

クラフト

シーツ&ホール

段ボールで
遊ぼう

新旧揃
い踏み

6/28
26th

giraffeもセタリース
も上出来でしょ！



福岡市中央区からご参加

半世紀以上の夏思い出話 合同魚釣サマイベント

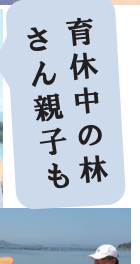
老人ホーム志摩園、ショートステイ、デイサービス、グループホームから腕に覚えの猛者集結(大げさです、初心者もOK)



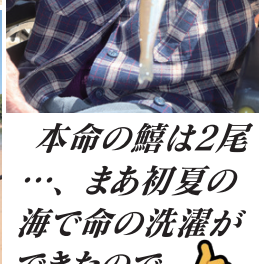
この日系島の最高気温26.8度



昨日は遠足の前の日みたいにワクワク



育休中の林さん親子も



本命の鱈は2尾…、まあ初夏の海で命の洗濯ができたので👍

砂の上をはだして歩くと…とてもリラックスします

【編集後記】 半世紀以上前の夏の思い出話…実家の前に干潟になると山水の流れる水路(潮間帯下)が現れました。その水路をはだして歩いて宝物を探します。

足の裏に神経を集中させ、何か丸い感覚を当てたなら、迷わず手を突っ込みます。

オレンジ色の巻貝(私たちの呼び名は“ドチ”)、夕方それを五右衛門ぶろを沸かす薪と一緒に焼いて食べることが楽しみでした。あの甘い味が良いのです。時には丸い甲羅のツガニを踏んづけることもありましたが、調べると正式にはテングニシ、佐賀や福岡では甲貝(こうがい)と呼ぶようで、有明海産を時々スーパーでも見かけます。

岡から干潟に向かう途中はカキ殻やガラス片などあって、足の裏は今でも複数の切り傷が残りますが、小学2年くらいまでの体験です。これもアーシングデトックスに違いありません。未だに“当たった！”感が土踏まずに残っていますもの…



(A・K)